

「薬学生のための微生物学と感染症の薬物治療学」と
「薬学教育モデル・コア・カリキュラム 令和4年度改訂版」の対応表（小項目・学修事項順）

本書は、「薬学教育モデル・コアカリキュラム令和4年度改訂版」に関して、「C-6-3 微生物の分類、構造、生活環」「D-2-15 感染症と治療薬」「E-1-2 人の健康を脅かす感染症の予防とまん延防止」「F-3-4 医療現場での感染制御」に準拠している形です。また、これら以外の部分については本書と一緒に学ぶことで理解が深まる内容を厳選してご執筆いただきました。この表では、本書中に掲載されている内容について、薬学教育モデル・コアカリキュラムの小項目・学習事項の順に、章をまとめています。必要に応じてご活用ください。

学修事項	対応する章
B-4 医薬品等の規制	
B-4-2 医薬品等の品質、有効性及び安全性の確保と薬害の防止	
(5) 薬害の例(サリドマイド、スモン、非加熱血液製剤、ソリブジン等)の原因、社会的背景、その後の対応	第12章 抗ウイルス薬とウイルス感染症
(7)健康被害救済制度と製造物責任	第8章 感染症の制御
C-4 薬学の中の医薬品化学	
C-4-5 代表的疾患の治療薬とその作用機序	
(6)免疫・炎症・アレルギー系疾患の医薬品	第7章 生体防御
(7)感染症の医薬品	第10章 抗菌薬
	第12章 抗ウイルス薬とウイルス感染症
	第13章 抗真菌薬と真菌感染症
	第14章 寄生虫感染症とその治療薬
C-6 生命現象の基礎	
C-6-3 微生物の分類、構造、生活環	
(1)微生物(ウイルス、細菌、真菌)の生物学的系統の相違	第2章 微生物学の基礎 (生物学的特徴) 第3章 細菌学総論
(2)細菌のグラム染色性と系統分類	第3章 細菌学総論
(3)細菌細胞の構造と増殖	第3章 細菌学総論
(4)増殖と必要な栄養素	第3章 細菌学総論
(5)エネルギー産生と酸素に対する挙動	第3章 細菌学総論
(6)細菌ゲノムの複製と発現	第3章 細菌学総論
(7)変異と遺伝子伝達現象	第3章 細菌学総論
(8)ウイルス粒子の構造と複製	第4章 ウイルス学総論
(9)真菌細胞の構造と増殖	第5章 真菌学総論
(10)無菌操作、分離培養、純培養	第9章 感染症の診断
C-6-5 生体エネルギーと代謝	
(1)エネルギー代謝の全体像	第3章 細菌学総論
(2)解糖系・乳酸生成	第3章 細菌学総論
(3)クエン酸回路	第3章 細菌学総論
C-7 人体の構造と機能及びその調節	
C-7-9 リンパ系と免疫	
(1)一次及び二次リンパ器官	第7章 生体防御
(2)主なリンパ管の名称と位置	第7章 生体防御
(3)自然免疫と獲得免疫	第7章 生体防御
(4)主なサイトカインと関与する細胞間ネットワーク	第7章 生体防御
(5)抗体分子及びT細胞抗原受容体の多様性	第7章 生体防御
(6)抗原認識と免疫寛容及び自己免疫	第7章 生体防御
D-1 薬物の作用と生体の変化	
D-1-3 医薬品の安全性	
(1)代表的な薬物の有害反応(副作用)、相互作用、薬物中毒、臨床検査値の異常とその対策、対応	第10章 抗菌薬
	第12章 抗ウイルス薬とウイルス感染症
	第13章 抗真菌薬と真菌感染症
	第14章 寄生虫感染症とその治療薬
(2)薬害の原因と被害の実態、事例解析と防止策	第12章 抗ウイルス薬とウイルス感染症

D-2 薬物治療につながる薬理・病態	
D-2-10 免疫・炎症・アレルギー系の疾患と治療薬	
(1)花粉症、アナフィラキシー	第7章 生体防御
D-2-15 感染症と治療薬	
(1)ウイルス感染症、細菌感染症、真菌感染症、寄生虫病	第11章 細菌感染症 第12章 抗ウイルス薬とウイルス感染症 第13章 抗真菌薬と真菌感染症 第14章 寄生虫感染症とその治療薬 第15章 臓器・組織別感染症の薬物治療
(2)呼吸器感染症、消化器感染症、尿路感染症、性感染症、皮膚感染症、神経系感染症、感覚器感染症、全身性感染症	第11章 細菌感染症 第12章 抗ウイルス薬とウイルス感染症 第13章 抗真菌薬と真菌感染症 第14章 寄生虫感染症とその治療薬 第15章 臓器・組織別感染症の薬物治療
(3)抗感染症薬耐性の獲得と出現の抑制策	第10章 抗菌薬
(4)主な治療薬	第10章 抗菌薬 第12章 抗ウイルス薬とウイルス感染症 第13章 抗真菌薬と真菌感染症 第14章 寄生虫感染症とその治療薬 第15章 臓器・組織別感染症の薬物治療
(5)消毒薬、滅菌法	第8章 感染症の制御
D-5 製剤化のサイエンス	
D-5-3 Drug Delivery System(DDS：薬物送達システム)	
(2)DDSが応用されている代表的な医薬品製剤と適用疾患	第13章 抗真菌薬と真菌感染症
E-1 健康の維持・増進をはかる公衆衛生	
E-1-1 環境要因によって起こる疾病の予防と健康被害の防止	
(6) 疾病や健康被害の予防・防止に係る規制・制度や関連法規	第8章 感染症の制御
E-1-2 人の健康を脅かす感染症の予防とまん延防止	
(1)感染症の病原体とその感染経路	第6章 微生物と感染症
(2)感染症に対する基本的な予防法	第6章 微生物と感染症
(3)保健統計及び疫学的手法を用いた感染症発生の背景や原因の解析	第8章 感染症の制御
(4)感染症の発生・まん延に関する社会的な影響・国際的な動向	第8章 感染症の制御
(5)感染症の予防・まん延防止に係る規制・制度や関連法規	第8章 感染症の制御
(6)ワクチンにより感染症を予防する意義と課題、副反応への対応	第8章 感染症の制御
(7)発生した感染症に対する予防策・まん延防止策	第8章 感染症の制御
F-1 薬物治療の実践	
F-1-1 薬物治療の個別最適化	
(5)主な疾患における薬物治療の計画、立案(薬剤選択、用量設定、剤形選択、投与経路、服薬指導・配慮すべき点、薬物血中濃度モニタリング、有効性・安全性モニタリング等)	第10章 抗菌薬
F-3 医療マネジメント・医療安全の実践	
F-3-4 医療現場での感染制御	
(1)標準予防策(手指衛生、個人防護具(手袋・マスク等)の適切な使用)	第8章 感染症の制御
(2)代表的な感染症の予防策の把握と適切な消毒薬の選択と使用	第8章 感染症の制御
(3)感染症発生時及び針刺し事故等の事例発生時における初期対応	第8章 感染症の制御
(4)施設内の感染症発生時の報告ルート、感染症法等を踏まえた保健所等への報告	第8章 感染症の制御
(5)施設内の感染制御管理体制と感染制御における多職種連携	第8章 感染症の制御
(6)新興・再興感染症等に対する対応	第8章 感染症の制御